

## チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・当社のリサイクル方針である「For the Earth」～人に優しい環境を美しい地球を～を社内で共有し、資源循環型社会の実現に向けて行動している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・企業活動におけるコンプライアンスの重要性を講習会参加及び、社内で発信し、社員の意識醸成に向けた取り組みを行っている。 ・就業規則に法令遵守を明文化している。 ・就業前にアルコールチェックを実施している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な競争の為、代表者が見積書や請求書等、最終確認を行うと共に、不正競争に関与しないよう社員に発信している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表者自ら企業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握する体制を整備している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・現場でのノウハウや営業秘密等の保護の為、就業規則に知的財産保護に係る規定を設けている。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については事業所内の施錠できる場所に保管すると共に、電子データについてはパスワードを設定し担当が管理している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・熊本県産業資源循環協会に加入しており、産業廃棄物の適正処理、再利用の推進に関する取り組みを中心会員との情報共有を行っている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・サプライチェーン全体でSDGsを推進すると共に、取引先の活動に関心を持ち、熊本県産業資源循環協会にて生活環境の保全、資源の効率的活用について取引先と認識を共有し取り組んでいる。					5			8	10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCP策定を行い、工場内の火災発生に備え防火、消火施設の強化に取り組んでいる。								9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者セミナーへの参加など、後継者の指導、育成に取り組んでいる。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則に各種ハラスメントの禁止について規定を設けている。 ・雇用条件や職場環境においても差別しない体制・運営を行っている。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・代表者より社員に月1回安全の重要性を発信する他、建築物の解体を行際は、事前に2名で現地調査を行うことで事故防止に取り組んでいる。 ・従業員に対し、事故事例を伝え、安全意識の向上に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員やパートの雇用形態に関わらない公正な待遇の確保に努め、同一賃金・同一労働の原則に沿って対応している。					5.5			8.5	10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働の削減や、時短勤務を導入すると共に、柔軟な休暇取得を実施することでワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8	10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・重機の資格取得、外部研修の受講を推奨すると共に、必要経費を支給している。 ・危機管理講習や石綿の安全管理講習を受講し、従業員の能力開発に取り組んでいる。			4		5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・事業所内での分煙や健康診断の費用補助を行い、健康経営に取り組んでいる。 ・屋外での作業者についてはこまめに休憩を取る等、熱中症対策に取り組んでいる。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人の雇用、定年延長による高齢者雇用、女性社員の積極的な雇用によりダイバーシティ経営を推進している。 ・令和4年10月より外国人技能実習生の受入を行い、現在6名雇用している。			4.4		5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・WEBにて打合せができる企業とはオンラインでのやり取りを行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・マニフェストの一部電子化を行い、業務効率化を図っている。 ・産業廃棄物収集運搬に係る、予定表管理アプリ活用によるルートの見直しを行いDX推進強化に取り組んでいる。 ・【予定】令和8年3月までに工場計量器と会計ソフトとの連動など業務の効率化のためのシステムを導入する。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12						

## チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・解体工事により排出される廃棄物や、石綿等の有害化学物質を把握し、適切に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物収集運搬に係る、予定表管理アプリ活用によるルートの見直し及び効率化によりエネルギーの削減に取り組んでいる。 ・令和5年7月より、簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握している。 ・令和7年5月よりCO <sub>2</sub> 排出量算定アプリの導入している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・令和5年11月、グループ企業による木質バイオマス発電所稼働している。 ・令和5年7月より、簡易計算シートを用いて、温室効果ガスの排出量を把握している。 ・令和7年5月よりCO <sub>2</sub> 排出量算定アプリを導入している。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・熊本県産業資源循環協会を通じて、環境ボランティアへの参加や、不法投棄防止の取り組みを行っている。 ・樹木くずの堆肥化を行い、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内でのリサイクル方針を定め、事業所及び一般家庭から排出された廃棄物受入を通じて、サーマルリサイクル、マテリアルリサイクルを行い、CO <sub>2</sub> の削減や地球温暖化に貢献するとともに資源循環型社会の実現に貢献している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・散水時の地下水(井戸水)の利用や、節水等を実施しており、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事業所内で使用する備品についてはグリーン購入対象商品を積極的に購入している。 ・バイオマス発電に使用する木質チップを製造している。			1	2		6.4			9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●													12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・廃木材を木質チップに再利用し、バイオマス発電の燃料として提供することでエネルギーの有効利用に貢献している。 ・令和5年11月グループ会社による木質バイオマス発電所の操業を開始し、資源の再利用に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO <sub>2</sub> 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。	●												11.6 11.a	12.8	13						17.2

## チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・各現場ごとに管理体制を定め、安全性・品質を確保している。 ・解体業務を行う際には、事前に現地調査を実施し安全性を確保している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・解体工事実施時に誰もが分かりやすい看板等を設置することにより、ユニバーサルデザインを意識した取組を実施している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・木質チップの原料は県内廃木材を収集し、木質チップに再利用している。		2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・家屋の解体を行い、適切なリサイクルの他、廃木材を木質チップに再利用する等、循環型社会への取り組みを行うことにより、環境負荷低減に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害時の解体工事や災害時に発生する廃棄物の収集など、本業を通じて社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ・令和5年4月より事業所にて使用済み切手の回収を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所内に水を備蓄をしている他、社員の緊急連絡網を作成し、防災対策を実施している。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・社内に防災士、消防団員が在籍し、地域防災の担い手として防災・減災に貢献している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・「SDGs委員会」を設置し、事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、金融機関との定期的な連携により課題解決と進捗の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4						8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・若者の県内定着の促進に向けて情報発信をHPで行うと共に、令和4年1月より4名採用し、若者の県内就職を促進している。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。